

Z o o u n i v e r s i t y

動物園大学⑦
in とべ

ずへぞなもし。

全国の飼育係と京都大学が語る

動物園のうらばなし

2017年

3月20日(月)

会場：愛媛県立とべ動物園

先着120名様は入園無料

事前申し込み不要

主催 京都大学野生動物研究センター

共催 (公財)日本モンキーセンター、京都市動物園、名古屋市東山動植物園
(公財)横浜市緑の協会(よこはま動物園、野毛山動物園、金沢動物園)
熊本市動植物園
わんぱーくこうちアニマルランド
高知県立のいち動物公園
愛媛県立とべ動物園
広島市安佐動物公園

後援 (公社)日本動物園水族館協会
愛媛県、愛媛県教育委員会
松山市教育委員会
砥部町教育委員会
(株)愛媛新聞社

参加者に
特製缶バッジを
プレゼント!!



動物園大学とは？？？

京都大学および連携する動物園が協力して、
情報交換・共同研究・教育普及を行うプロジェクトです。

動物園大学が目指すもの

- 1、動物のよりよい暮らしのサポート（飼育技術の向上）
- 2、動物や、動物をとりまく環境の理解（飼育下から野生まで）
- 3、動物の健康・繁殖・福祉の充実

これまでのシンポジウム

- 2011年 ゑ〜どすえ。 動物園大学1 in 京都 （京都市動物園）
- 2012年 ゑ〜だがや。 動物園大学2 in 名古屋（名古屋市東山動植物園）
- 2013年 ゑ〜ばってん。動物園大学3 in 熊本 （熊本市動植物園）
- 2014年 ゑ〜じゃん。 動物園大学4 in 横浜 （よこはま動物園）
- 2015年 ゑ〜ぜよ。 動物園大学5 in 高知 （高知県立のいち動物公園）
- 2016年 ゑ〜だなも。 動物園大学6 in 犬山 （日本モンキーセンター）

プログラム メイン会場:ふれあいセンター

- 8:30～ 場外受付
- 9:00～ 開場（入園ゲート）
- 9:15～ 開会のあいさつ 渡邊清一（とべ動物園園長）
- 9:20～ 動物園の飼育係によるレクチャー
- 12:30～ 昼食休憩



- 13:20～ ポスター発表（終日掲載）
- 14:20～ 演者と会場参加者のフリートーク
- 15:15～ 基調講演① 町田吉彦（高知大学名誉教授）
- 15:45～ 基調講演② 坂本英房（京都市動物園副園長）
- 16:15～ 自由討論
- 16:45～ 閉会のあいさつ 伊谷原一（野生動物研究センター教授）
- 16:50 閉会

飼育係によるレクチャー

- 9:20～ 「たかがカメ、されどカメ、日本のカメを守れるか？」
It's just a turtle, but it surely is a turtle! How can we protect Japanese pond turtle?
前田 洋一（愛媛県立とべ動物園）
- 9:40～ 「近い将来、動物園からジャガーがいなくなる!？」
Can we see this big cat in Japanese zoo forever?
吉川 貴臣（わんぱくこうちアニマルランド）
- 10:00～ 「日本で初めてのハシビロコウの繁殖を目指して」
For breeding of shobills first in Japan
小松 美和（高知県立のいち動物公園）
- 10:20～ 「20頭のシマウマとのつき合い方」
How to maintain the group of twenty zebras.
屋野丸 勢津子（広島市安佐動物公園）
- 10:40～ 「ひとりぼっちをなくそう！テナガザル異種ペア成立への取り組み」
You Are Not Alone~Approach to making a different species pair of gibbon~
石田 崇斗（日本モンキーセンター）
- 11:00～ 「東山動物園で希少淡水魚を繁殖させる!」
Breeding Endangered Freshwater Fishes at Higashiyama Zoo
水野 展敏（名古屋市東山動植物園）
- 11:20～ 「トレーニングを利用したメスキリンの搾乳と乳成分の分析」
Milking and analysis of composition of Giraffe's milk through husbandry training
河村 あゆみ（京都市動物園）
- 11:40～ 「熊本地震に伴う猛獣移動大作戦」
Big project of Fierce animal movement associated with Kumamoto earthquake
井手 真司（熊本市動植物園）
- 12:00～ 「ゾウさんの引っ越し大作戦!」
Moving great strategy of the elephant
藤澤 加悦（よこはま動物園）



ジオアートワークス
WILDLIFE ART 展

会場：メイン会場入り口前

基調講演

分からないものは分からない…高知県のニホンカワウソ

No one knows the present status of the Japanese otter in Kochi Prefecture

本年3月末に高知県の暫定レッドリストが公表される。改訂に向けての現状分析は各分科会の責任においてなされるものであるため、今回の話の内容は哺乳類分科会とは無関係であることをお断りしておく。本種の衰退は安藤元一氏により2009年にまとめられた。絶滅宣言は2012年8月である。四国では2015年に宮本春樹氏が労作を発表した。本種の緊急保護対策事業は環境省の主導で1991年に開始されたが、対象地域は高知県であった。現在では1990年代の中頃に絶滅したとされており、そのころ委員として現場を担当していた演者はA級戦犯に指名されても仕方ない。ただ、IUCNの絶滅種の定義と照らし合わせると、絶滅宣言には無理がある。演者は何事にも「分からないものは分からない」という姿勢で臨んで来た。今でも目撃情報があり、河川からが多い。重点調査区域は海岸部だったが、反省点とせねばならないだろう。

町田 吉彦 Yoshiniko Machida 高知大学名誉教授

1947年秋田県生まれ。1978年～2010年高知大学に勤務。
1990年高知県ニホンカワウソ調査員、1991年～1999年ニホンカワウソ
緊急保護対策調査検討委員会委員。高知県文化財保護審議会委員・
同専門委員、高知県レッドデータブック〔動物編〕改訂委員会委員長。
水生動物学。



京都市動物園におけるツシマヤマネコの保護増殖事業

Protection & Breeding Project for Tsushima Leopard Cats at Kyoto City Zoo

京都市動物園では、環境省の認定を受けて（公社）日本動物園水族館協会が実施するツシマヤマネコ保護増殖事業に協力し、普及啓発と飼育下繁殖に取り組んでいます。哺乳類の生息地への再導入は国内初のバイオニアワークであり、日本の絶滅危惧種の保全活動に直接関わることができる機会であったこと、限られたスペースでも飼育下繁殖に取り組むことができ、将来、京都の野生動物の保全活動にも応用できることから、本園の再整備構想である共汗でつくる新「京都市動物園構想」に反映させて展示施設及び繁殖施設の整備を行いました。2012年に展示用に雌1頭を導入し、毎年秋に「やまねこ博覧会」を開催して普及啓発に努めています。また、2014年に繁殖用の個体として雌1頭、雄2頭を導入し、非公開繁殖施設で飼育下繁殖に取り組んでいます。2016年にペアリングに成功し交尾、妊娠にいたりましたが、残念ながら産子を得られませんでした。今年も同じペアでの繁殖を目指しています。

坂本 英房 Hidefusa Sakamoto 京都市動物園副園長

獣医師で学芸員。1960年福岡生まれ。1987年に山口大学大学院農学
研究科獣医学専攻修了、同年に福岡市役所に採用。1988年に京都市
動物園に採用され、現在に至る。元山岳部員で、趣味は山歩きと溪流釣り
だが、最近では行く機会に恵まれず、休日は奈良のお寺を訪ね歩くことも。
好きな動物はネコ（ネコ科の動物）、好きな食べ物はハンバーグ。



Information

Access

- 松山ICから国道33号線を高知方面へ約10分
 - 道後温泉路面電車で松山市駅へ。乗り換えて動物園行きバス乗車（所要時間約60分）
 - 伊予鉄松山市駅より動物園行きバス乗車（30分間隔）→動物園前下車（所要時間約36分）
- Regular Bus Services from the Iyo line Matsuyama-shi station to Tobe Zoo.
Departures are every 30 minutes.
Get off at "Dobutsuen-mae"

お問合せ

〒791-2191

愛媛県伊予郡砥部町上原町240

愛媛県立とべ動物園

TEL 089-962-6000

FAX 089-962-6194

E-mail zoouniversity@wrc.kyoto-u.ac.jp

入園料 大人（18歳以上）460円 小人100円
大人（65歳以上）100円 幼児（6歳未満）無料
障害者手帳をお持ちの方 無料
※先着120名様は入園料無料となります

ず〜どなもし。

ニホンカワウソ

とべ動物園の前身である道後動物園で
世界で唯一飼育していました

